



新型コロナウイルスに関するご報告

秋雨の日は肌寒く思われるこの頃の陽気ですが、皆様にはいかがが過ぎでしょうか？いまだに台風による影響もあり、9月21日、23日にかけて発生した能登半島豪雨では、元旦に被災された多くの住民も再び被災され、深刻な状況となっております。その中で生活されている皆様の健康が支えられ、一日も早く、穏やかに暮らすことができますようお祈りいたします。

シャローム横浜では、4年前の新型コロナウイルス感染症が出現してから、7月～8月の時期は毎年クラスターを経験してきました。今年も9月2日より3階フロアにてご利用者2名を起点に職員1名、利用者10名の合計11名が陽性となりましたが、症状は比較的軽く、9月24日をもって無事に収束することができました。また、対策として陽性者のみを居室安静とし、食事席を離すことで、陽性者と接していた感染リスクの高い方と低い方との接点を減らす工夫を行いました。それにより、感染対策期間中もショートス

ティをご家族に了承を得ながら受け入れを継続していくという新たな試みを行うことができました。

多くの皆様にご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、収束に向けてご協力をいただきました所轄保健所や医療機関、ご家族や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

今後もこの経験を糧に、コロナと共存していければと願っております。

2020年より始まった新たな感染症の出現により、このシャローム横浜においては面会の制限、ボランティアや地域交流ができないなど、地域との交流が途絶えていました。しかし、感染症対策をしっかりと身に付けることで、生活の場でご家族や地域の方が行き来するあたりまえの環境を少しずつ整え、地域のニーズにしっかりと答えていきたいと考えております。今後も皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

施設長 高原信夫

敬老週間のお祝い

デイサービス「ひまわり」では9月に敬老の日を迎えるにあたり、敬老週間としてお祝いをしました。皆さんと一緒に作成した敬老「祝」の壁紙の前で記念撮影をし、昼食は特別に散らし寿司を召し上がっていただきました。

現在、ひまわりの最高齢者は101歳の方がいらっしゃいます。『みなさんの今は将来の私たち（職員）です。元気でいらっしゃることが私たちの励みです。』と激励の言葉を贈らせていただきました。

ひまわり主任 池原 雅彦



第291号

令和6年10月15日発行
(毎月1回15日発行)

責任者:施設長 高原信夫
〒241-0802
横浜市旭区上川井町1988
社会福祉法人
アドベンチスト福祉会
シャローム横浜
☎045-922-7333

編集委員

荒金・石川・石橋

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



自然と共存する地域の発展

旭区の上川井町にある当施設は自然豊かな場所にあります。施設の周辺には小学校や住宅街もありますが、畑や森林も多くあり、私が働いている4階の窓から見る景色は自然豊かでとても素晴らしいです。

ですが皆様もご存じかと思いますが、上瀬谷通信隊の跡地に 2027 年国際園芸博覧会、その後 2031 年ごろ開業される仮称「KAMISEYA PARK」の開発が徐々に進み、景色が変わってきてはいますが、そちらの変わりゆく変化を見守ることもまた面白く、今後が楽しみに感じております。

介護支援専門員 古澤 広行



ラーメン屋台



10月6日は栄養課主催でラーメン屋台を行いました。

メニューは正油ラーメン、餃子、杏仁豆腐でした。入居者の皆様も美味しそうにラーメンを召し上がっていました。

来月 11 月 3 日には、種子島産の安納芋を使った焼き芋を味わっていただく予定です。皆様楽しみにして下さいね。

栄養課 課長 小寺 秀偉



我々が蛇（サタン）と戦わないならば・・・

第199回 チャプレン 上前 至

最近、V. E. フランクル『夜と霧』（2013年版、みすず書房）を読み返してみた。なぜ、そうしたか？それは現在、世界が人としての倫理基準を失い混乱し、もはや正常とはいえない戦争や悲惨な殺戮を平気で繰り返しているように見えるからである。ロシアによるウクライナへの侵略戦争、イスラエルのネタニヤフ首相のもとでの狂気ともいえるガザ、レバノンへの過剰防衛としか言えない執拗な攻撃。トルコのエルドアン大統領が「ネタニアフはヒトラーと変わらない」というような発言もわかるような気もする状況である。

米国はロシア非難することすれど、イスラエルに対する軍事支援を止める事はない。米国のダブル・スタンダード（二重基準）といわれる所以である。世界は今、とめどもない混迷の度合いを深めているとしか思えないのである。

こんな時、大切な事は何か。フランクルは言う「人間はガス室を発明した。しかし、同時に、そこに入っても毅然として祈りの言葉を口にする存在である」と。大切なことは国家の枠を超えた市民社会を形作る一人ひとりの、人としての人間性、尊厳の確立を達成することではないか。極限の状況において大切な事は人としての、そのあるべき姿を最後まで失わない事であろう。そしてそれは、私たちが聖書の神、信仰の上に立つ時によってのみ、成され得ることを信ずるものである。そうでなければ私共は蛇（サタン）との戦いに勝つ事はできないだろうから。

【ルカによる福音書 10 章 25 節～28 節】

